

第364号 2014年10月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

特別展「東北の弥生化－縄文時代が変わるとき－」開催のお知らせ

弘前大学人文学部北日本考古学研究センターでは、特別展「東北の弥生化－縄文時代が変わるとき－」を開催します。2011年度から開始した「冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト」活動の一環として昨年度行った秋田県八郎潟町下台遺跡の発掘調査により、縄文晩期末の良好な資料群を得られたのを契機に、晩期縄文人はどのように農耕を受容していったのか、その調査成果を速報します。また、北日本における水稻農耕文化への過程をこの地域の考古資料を用いて展示します。本企画展は、これまで非公開だった貴重な資料を含め、現在までに得ている成果を一般に公開するものです。多数のご来場をお待ちしております。

1. 日時：2014年10月18日（土）～11月24日（月）の
10:00～16:00
※但し、11月22日（土）・23日（日）のみ
入学試験日のため休館
2. 場所：弘前大学人文学部北日本考古学研究センター展示室
（総合教育棟2階）
3. 入場料：無料
4. 解説者：関根 達人
（弘前大学人文学部教授、
北日本考古学研究センター長）

上條 信彦
（弘前大学人文学部准教授）

問い合わせ先：弘前大学人文学部北日本考古学研究センター
弘前大学人文学部 准教授 上條 信彦
TEL：0172-39-3221



**平成26年度 弘前大学大学院医学研究科「健康・医療講演会」
開催のお知らせ**

このたび、大学院医学研究科では「顔の医学・皮膚の医学」をテーマに独立行政法人国立病院機構弘前病院と共催で「健康・医療講演会」を開催いたします。
正しい知識と予防法について専門の医師が分かりやすく解説いたします。
皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2014年10月18日（土）14:00～16:00

2. 場 所： 弘前プリンスホテル 2階 孔雀の間
(弘前市駅前1丁目3-4)
3. 対 象： 一般の方、教職員、学生
※事前申込は不要です。
4. 入 場： 無 料 (定員100名程度)

問い合わせ先： 弘前大学医学研究科総務グループ (総務担当) 山中
(〒036-8562 弘前市在府町5番地)
TEL: 0172-33-5111 (内線6783)
FAX: 0172-39-5205
E-mail: med-pr@cc.hirosaki-u.ac.jp



第6回大名墓研究会開催のお知らせ

弘前大学を会場に開催する第6回大名墓研究会では、東北の近世大名墓がどのように展開していたのか、考古学の分野から解明していきます。ぜひご聴講ください。

1. 日 時： 2014年10月19日(日) 9:30~15:40
2. 場 所： 弘前大学人文学部校舎 4階 多目的ホール
3. 対 象： 本学学生、教職員、一般の方等どなたでも
※事前申込は不要です。
4. 発 表： (参加費無料、資料代別)

9:30 ~ 9:40 受付

9:40 ~ 9:50 趣旨説明 中井 均 (滋賀県立大学)

9:50 ~14:30 事例発表

「松前藩松前家墓所」
佐藤 雄生 (松前町教育委員会)

「弘前藩津軽家墓所」
関根 達人 (弘前大学)

「仙台藩水澤留守家墓所」
高橋 千晶 (奥州市教育委員会)

「仙台藩御一門の墓所」
澁谷 悠子 (宮城県立公文書館)

「会津藩松平家墓所」
近藤 真佐夫 (会津若松市教育委員会)

14:30 ~15:30 総括報告
「東北の大名墓研究の現状と課題」
関根 達人 (弘前大学)

15:30 ~ 15:40 事務局挨拶 中井 均 (滋賀県立大学)

4. 主 催 : 大名墓研究会 (代表: 滋賀県立大学 中井 均 教授)

問い合わせ先: 弘前大学人文学部教授 関根 達人
TEL: 0172-32-3569 (研究室直通・FAX兼)
E-mail: sekine@cc.hirosaki-u.ac.jp

ScienceDirect講習会開催のお知らせ

附属図書館が整備導入している電子ジャーナルScienceDirectの講習会を開催します。講師はエルゼビア認定トレーナーですので、分かりやすく実践的な講習内容です。お気軽にご参加ください。

1. 日 時 : 2014年10月22日(水) 10:20~11:50
2. 場 所 : 総合情報処理センター 2階 第2実習室
3. 対 象 : 本学学生及び教職員
※事前申込は不要です。
4. データベース名 : ScienceDirect
(エルゼビア社の電子ジャーナル)
5. 講 師 : 未定



問い合わせ先: 研究推進部学術情報課
資料管理グループ雑誌情報担当
TEL: 0172-39-3157
E-mail: jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成26年度弘前大学総合文化祭「知の創造」 農学生命科学部公開講座「岩木川の水環境を学ぶ！」開催のお知らせ

1. 日 時 : 2014年10月26日(日) 13:30~15:30
2. 場 所 : 弘前大学農学生命科学部 3階 302講義室
3. 対 象 : 一般、教職員、学生の方等どなたでも
※参加無料、事前申込不要です。
4. 受 付 : 当日、302講義室前で行います。
5. テーマ : 「岩木川の水環境を学ぶ！」

演 題 : 「世界自然遺産白神山地が岩木川に果たす役割は？」

講 師 : 農学生命科学部 教授 工藤 明

内 容 : 津軽平野を潤す岩木川は名実共に「母なる川」として、流域住民の生活に直接関わりを持っており、その水源である最上流部の白神山地にもたらされる降雨や流れ出る水の量と質より、下流河川の岩木川に果た



す役割、又は及ぼす影響について考えてみましょう。

演 題： 「川の生態系を保全するための魚道を知っていますか？」

講 師： 農学生命科学部 教授 泉 完

内 容： 私たちは、農業用水や飲用水などに必要な水を川に堰をつくって取りま
す。ただ、せき止めてしまうとそこに棲んでいる魚などの行き来ができ
なくなります。そのために堰に魚の通路を設けます。この通路を「魚
道」といいます。岩木川にある堰の魚道を例にしてその機能や魚道設計
に必要な魚の泳力について学びましょう。

6. 備 考： 「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座です。

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部地域連携推進室（事務担当・藤江）

TEL：0172-39-3758

E-mail：renkei@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学大学院保健学研究科
平成26年度 第2回大学院活性化講演会開催のお知らせ**

弘前大学大学院保健学研究科では、平成26年度第2回大学院活性化講演会を下記のとおり開催
しますので、お知らせいたします。

1. 日 時： 2014年10月29日（水）17：45～19：00
2. 会 場： 弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟 6階 第24講義室
3. 対 象： 弘前大学学生・教職員、一般の方等どなたでも
※事前申込は不要です。
4. 講 師： 東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科
看護先進科学専攻 教授 本田 彰子 先生
5. 演 題： 「在宅看護学の研究の現状と課題 ―地域包括ケア推進の流れの中で―」

※入場無料です。

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 学務グループ

TEL：0172-39-5911

分析化学と化学分析の青森フォーラム2014開催のお知らせ

県内の分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的
としています。ご関心をお持ちの方は是非ご参加ください。

1. 日 時： 2014年11月7日（金）14：20～
2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 8階 八甲田ホール

3. 対 象： 化学分析に興味をお持ちの方
※事前申込は不要です。

4. プログラム：

14:20 「キレート樹脂を用いた環境試料中の
放射性ストロンチウム分析法」
(弘前大学被ばく医療総合研究所) 田副 博文

15:05 「環境化学における分析技術
～環境分析の現場から～」
(株式会社環境管理センター) 石井 善昭

～休 憩～

16:00 「その道世界No. 1を目指しているフロンティア・ラボ“創業から現在まで：
確固たる学問に立脚した独創的な製品開発とその裏話”」
(フロンティア・ラボ株式会社) 渡辺 忠一

16:45 特別講演
「規制反応場と化学センシング」
(日本分析化学会会長・東北大学名誉教授) 寺前 紀夫

5. 参加費： 無 料

6. 懇親会： 17時45分より市内で行いますので、参加ご希望の方は御連絡ください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし
TEL・FAX：0172-39-3573
E-mail：nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp

**高度実践被ばく医療検討委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門
第5回講演会「リスクコミュニケーションのワークショップ」開催のお知らせ**

リスクコミュニケーションとは社会を取り巻く多様なリスクに関する様々な情報を行政、専門家、市民間で共有し、意思疎通を図ることです。福島原発事故は我々に放射線リスクコミュニケーションの重要性を再認識させました。

今回のワークショップでは、講師の土屋智子氏の主導により、小グループによる「放射線、その他のリスクコミュニケーションのシミュレーション体験（ロールプレイ、発表、討論）」により、リスクコミュニケーションの理解やその教育を考えるひとつの機会とします。

1. 日 時： 2014年11月8日（土）9：00～15：30
2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 第21講義室（予定）
（弘前市本町66番地1）
3. 対 象： 弘前大学教職員、弘前市内行政機関等職員
（行政機関職員、保健所・保健センター職員、
消防署職員、幼稚園・小学校・中学校・高等学校
教員）等

**リスクコミュニケーションの
ワークショップ**

講 師 土屋 智子氏
特定非営利活動法人 HSE
リスク・ニューズ 事務局長
東京大学大学院保健学研究センター
特任研究員

【内容】
小グループによる「放射線、その他のリスクコミュニケーションのシミュレーション体験（ロールプレイ、発表、討論）」

【日時】平成26年11月8日（土）9:00～15:30
【場所】弘前大学大学院保健学研究科 第21講義室
（弘前市本町66番地1）
【対象】弘前大学教職員、弘前市内行政機関等職員（行政機関職員、保健所・保健センター職員、消防署職員、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教員）等
【申し込み】事前に、下記の問い合わせ先まで、お申し込みをお願いします。
申し込み期間：平成26年10月24日（金）
【参加人員】30人以内 【参加費】無料

【問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科総務グループ 桑田
TEL: 0172-39-5518 E-mail: kowata@cc.hirosaki-u.ac.jp
主催 弘前大学大学院保健学研究科高度実践被ばく医療検討委員会（医療人教育プロジェクト）
放射線リスクコミュニケーション教育部門

**分析化学と化学分析の
青森フォーラム2014**
主催 (公社)日本分析化学会東北支部
共催 弘前大学大学院理工学研究科

県内の分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を認め、情報交換を行うことを目的としています。ご関心をお持ちの方は是非ご参加下さい。

日時 2014年11月7日(金)14時20分から
会場 弘前大学創立60周年記念会館八甲田ホール

プログラム
14:20 「キレート樹脂を用いた環境試料中の放射性ストロンチウム分析法」(弘前大学被ばく医療総合研究所) 田副博文
15:05 「環境化学における分析技術～環境分析の現場から～」(株式会社環境管理センター) 石井善昭
休 憩
16:00 「その道世界No. 1を目指しているフロンティア・ラボ“創業から現在まで：確固たる学問に立脚した独創的な製品開発とその裏話”」(フロンティア・ラボ株式会社) 渡辺忠一
16:45 特別講演 「規制反応場と化学センシング」(日本分析化学会会長・東北大学名誉教授) 寺前紀夫

参加費 無料
懇親会 17時45分より市内で行いますので参加ご希望の方は別途ご連絡下さい。

問合せ 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし(電話及びFAX: 0172-39-3573, E-mail: nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp)

4. 講 師： 土屋 智子 氏
（特定非営利活動法人HSEリスク・シーキューブ
理事・事務局長）
（東京大学政策ビジョン研究センター 特任研究員）

専門分野： リスクコミュニケーション

5. 申 込： 事前に下記の問い合わせ先にお申し込み願います。
6. 申込期限： 2014年10月24日（金）
7. 募集人員： 30人以内
8. 参加費： 無 料
9. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
放射線リスクコミュニケーション教育部門

申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ 桑田
TEL：0172-39-5518
FAX：0172-39-5912
E-mail：kuwata@cc.hirosaki-u.ac.jp

知財塾開催のお知らせ

この度、弘前大学知的財産本部では、山口大学 大学研究推進機構知的財産センター 副センター長 木村 友久氏を講師にお招きし、知的財産法をベースに知財戦略を加えた「創出から活用までを見通した知的財産戦略」について講演をしていただきます。

知的財産（知財）には特許や商標、著作権など色々な種類がありますが、知財のことはどなたも覚えておいて損はないと思います。是非奮ってご参加ください。

1. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 2階 セミナー室
（弘前市文京町3番地）
2. 日 時： 2014年11月10日（月）18：00～20：00
3. 対 象： どなたでもOK！！
4. 演 題： 「創出から活用までを見通した知的財産戦略」
5. 講 師： 山口大学 大学研究推進機構知的財産センター
副センター長 木村 友久 氏
6. 参加料： 無 料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、11月5日（水）までに、下記連絡先までお申し込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学知的財産本部
TEL：0172-39-3178
FAX：0172-36-2105
E-mail：chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学金木農場「農場祭」開催のお知らせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日 時： 2014年11月15日（土）9：30～15：00
2. 会 場： 弘前大学金木農場
（五所川原市金木町芦野84-133）
3. 催し物：

- 農場生産物販売コーナー（①9：30～②13：00～）
※午前・午後に分けて販売します。

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。
是非、お買い求めください。

金木農場産・・・新米（つがるロマン、てんたかく、夕やけもち）、
弘大アップルビーフ
藤崎農場産・・・りんご、ねぎ等
（何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください）

- イベント（終日）

- ・販売（9：30～順次）

弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など
お食事コーナー、弘大グッズ等

- ・その他出店（9：30～順次）
金木町斜陽の詩・稲垣町「おかずや」（お惣菜など）

- ・展示（終日）

藤崎農場・金木農場の教職員による研究・展示
（牧草、アップルビーフ、紅の夢、無農薬リンゴなど）

- ・米5品目あじくらべ（①11：00～②13：00～）

5種類のお米を試食してアンケートにお答えいただくと・・・
お気に入りのお米1種類をプレゼント

- ・体験（終日）
ヒツジとふれあいコーナー

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部
附属生物共生教育研究センター 金木農場
TEL：0173-53-2029
FAX：0173-52-5137
E-mail：jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp



平成26年度 二国間交流事業共同研究／セミナー

「地域人材流出問題と地域発展政策 ～なぜ、若者たちは東京・ソウルに移動するのか?～」
開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2014年10月17日（金） 17：00～20：30

2. 場 所： 弘前市民文化交流館 ホールおよび多世代交流室
（弘前市大字駅前町9-20ヒロロ内）

3. 対 象： 一般市民、行政関係者、学生

※定員：100名

※事前申込は不要です。当日参加可能です。

4. 目 的：

本事業は、日韓両国においては、地方における過疎化、少子高齢化の問題がますます深刻になっていることをうけ、地方からの人口流出問題に焦点をあて、地域間移動の要因を明らかにし、また、地方から都市だけでなく、都市から地方への地域間移動の要因を明らかにすることによって、双方向の移動を誘引するための政策を模索すること。

5. 主 催： 弘前大学

後 援： 青森県・弘前市

6. 参加料： 無 料

7. その他： 分科会は通訳あり

8. プログラム

16：30 開 場

17：00 開会・主催者挨拶 弘前大学長 佐藤 敬

基調講演

「ストップ少子化・地方元気戦略」

樋口 美雄

（日本創成会議人口減少問題検討分科会委員／
慶応義塾大学商学部教授）

司会： 小谷田 文彦

（弘前大学人文学部准教授）

18：30 分科会1

「人口流出から人口流入へ：Uターン戦略について」

話題提供者： 秋田 佳紀

（青森県企画政策部企画調整課課長）

崔榮鎬（チョイヨンホ）

（大邱廣域市経済通商課課長）



司会：石黒 格
(日本女子大学人間社会学部准教授)

分科会 2
「人口再生力回復のために」

話題提供者：岩崎 隆
(弘前市経営戦略部行政経営課課長)

吳昌昀 (オチャンギョン)
(大邱慶北研究院大邱慶北学センター所長)

司会：山口 恵子
(東京学芸大学教育学部准教授)

20:00 分科会統括

司会：李永俊
(弘前大学人文学部教授)

20:30 閉会・主催者挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

問い合わせ先：弘前大学地域未来創生センター
(弘前市文京町1)
TEL: 0172-39-3198
E-mail: irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
(平日10:15~15:00)

第7回弘前大学国際シンポジウム開催のお知らせ (再掲)
—Proposing a New Music Education View through Non-European Sound Practices—

この度、教育学部主催による第7回弘前大学国際シンポジウム「Proposing a New Music Education View through Non-European Sound Practices」を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

海外からはHenry Johnson氏 (University of Otago)、ChiCheung Leung氏 (Hong Kong Institute of Education)、Anita Prest氏 (University of British Columbia) Lauri Väkevä氏 (Sibelius Academy) の4名を招聘し、弘前大学及び附属特別支援の教員、大学院生とともに2日間、非西洋の音響文化、ジャズ、ポピュラー音楽等を中心に今後の音楽教育について考えるためのシンポジウムです。

それでは、多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月18日 (土) ~ 19日 (日)

[1日目] 講演とディスカッション 13:00~18:00
[2日目] ポスターセッション 10:00~12:00
講演とディスカッション 13:00~18:00

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. 対 象： どなたでもご参加いただけます。
※事前申込は不要です。

4. 講演者 Henry Jonson (オタゴ大学 教授)
Chi Cheung Leung (香港教育学院 准教授)

Anita Prest (ブリティッシュコロンビア大学 Ph.D)
Lauri Väkevä (シベリウス音楽院 教授)
諏訪 淳一郎 (弘前大学国際教育センター 准教授)
浅野 清 (弘前大学教育学部 教授)
今田 匡彦 (弘前大学教育学部 教授、司会者)
千葉 修平 (弘前大学大学院教育学研究科)
熊谷 敬太 (弘前大学大学院教育学研究科)

5. 備考: 入場無料 (どなたでもご参加いただけます。)

※ 講演は全て英語で行います。

※ 詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://huis2014.com/>

問い合わせ先: 弘前大学教育学部音楽教育講座 今田 匡彦
TEL: 0172-39-3379
E-mail: timada@cc.hirosaki-u.ac.jp

第5回弘前大学COI特別講演会開催のお知らせ (再掲)

平成25年11月に採択された革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM) 「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するにあたり、更なる知見を深めること等を目的として、下記のとおり第5回弘前大学COI特別講演会を開催します。

本講演会では、GEヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員 技術本部長の星野和哉氏をお招きして御講演いただきます。

事前申込は不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時: 2014年10月20日 (月) 15:00~16:30
(受付は14:40から開始します)

2. 会場: 弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂
(弘前市在府町5)

3. 対象: 一般、弘前大学教職員、学生等
※事前申込は不要です。

4. 講師: GEヘルスケア・ジャパン株式会社
執行役員 技術本部長 星野 和哉 氏

5. 演題: 「GEのイノベーションと日本の役割」

問い合わせ先: 弘前大学COI研究推進機構 戦略支援室
担当教員: 村下
URA: 工藤・菅原・金澤・野呂
担当事務: 高橋
TEL: 0172-39-5538
E-Mail: coi_info@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL: <http://coi.hirosaki-u.ac.jp>



第5回 弘前大学COI特別講演会

GEのイノベーションと日本の役割

日時: 2014年10月20日 (月) 15:00~16:30 (受付開始は14:40分)

会場: 弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂 (高森町弘前市在府町5)

講師:



GEヘルスケア・ジャパン株式会社
執行役員 技術本部長 星野和哉 氏

・1981年3月 東京工業大学 大学院修士課程 電気電子工学 修了
・1981年4月 橋本電機製作所 (株) 入社、機体開発 部長
・1982年4月 GE航空システムズ (株) 設立機中川田-部長
・1986年4月~12月 GE Corporate Research Center (米国)
・1991年3月 航空機開発グループ-リーダー (課長) 兼任
・1996年7月 機体開発 部長
・2002年10月 機体開発 部長
・2005年4月 執行役員 兼任
・現在に至る

どうもお気軽に御参加下さい。一般の方・学生の参加も大歓迎です。

Information

弘前大学COI研究推進機構 戦略支援室

担当教員: 村下

URA: 工藤・菅原・金澤・野呂

担当事務: 高橋

TEL: 0172-39-5538 Mail: coi_info@cc.hirosaki-u.ac.jp

第39回弘前大学経済学会大会のお知らせ（再掲）

弘前大学経済学会は、第39回大会（記念講演、研究成果発表）を下記のとおり開催することになりました。今回は日本銀行青森支店長・山口智之氏をお招きし、青森県経済の現状と展望についてご講演いただくほか、本学会会員による日頃の研究成果の発表を予定しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月24日（金） 14：00～17：40

2. 場 所： 弘前大学人文学部多目的ホール（人文学部校舎4階）

3. 対 象： 学内外問わずどなたでも参加可能
※事前申込は不要です。入場無料です。

4. プログラム：

1. 開会挨拶

森 樹男会長（弘前大学人文学部教授） 14：00～14：05

2. 講演

講 師 山口 智之 氏（日本銀行青森支店長） 14：10～15：20

演 題 「青森県経済の現状について(仮)」

3. 研究発表（1）

栗原 由紀子 氏（弘前大学人文学部講師） 15：30～16：30

発表題目 「景況パネルによる企業の予想形成の分析」

討論者 飯島 裕胤 氏（弘前大学人文学部教授）

研究発表（2）

秋葉 まり子 氏（弘前大学教育学部教授） 16：40～17：40

発表題目 「ベトナムにおける農村金融の仕組み：北部紅河デルタの事例研究」

討論者 黄 孝春 氏（弘前大学人文学部教授）

※学会終了後、本学文京キャンパス周辺のお店を会場として、懇親会を行います。
参加ご希望の方は、学会開催の2～3日前までに事務局・細矢までご連絡ください。
会費4,000円程度を予定しています。

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 細矢 浩志
TEL：0172-39-3281
E-mail：hosoya@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成26年度弘前大学総合文化祭「知の創造」 市民公開講座「放射線リスクコミュニケーションを考える」開催のお知らせ（再掲）

リスクコミュニケーションとは社会を取り巻く様々なリスクに関する正確な情報を行政、専門家、市民間で共有し、意思疎通を図ることです。福島原発事故は我々に放射線リスクコミュニケーション

ンの重要性を再認識させました。本講演では、「放射線リスクコミュニケーションを考える」というテーマで、放射線リスク、環境保健を専門にしている甲斐倫明氏、および環境省の看護職として福島住民とかかわりを持った経験を有する福島芳子氏、両氏の知見を広く公表することを通して、弘前大学学生、教職員、一般市民が放射線リスクについて考える機会といたく、標題の公開講座を開催いたします。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月26日（日）13:30～15:30

2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
（弘前市文京町1番地）

3. 対 象： 一般市民・学生
※事前申込は不要です。

4. 参加費： 無 料

5. 内 容：

●テーマ 「放射線リスクコミュニケーションを考える」

◆講演1 「集団から個への放射線リスクコミュニケーション」
福島 芳子 氏（弘前大学大学院保健学研究科特任講師）

◆講演2 「放射線リスクコミュニケーションにいま何が求められているのか」
甲斐 倫明 氏（大分県立看護科学大学環境保健学研究室教授）

6. 主催・共催：

主 催： 弘前大学総合文化祭「知の創造」弘前大学大学院保健学研究科事業

共 催： 弘前大学大学院保健学研究科高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
放射線リスクコミュニケーション教育部門
平成26年度学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
活性化支援事業費補助金対象事業

※詳細については、下記URLをご参照ください。

URL：http://www.rem-hirosaki.jp/activity_report_c.html

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ 桑田
TEL：0172-39-5518
E-mail：kuwata@cc.hirosaki-u.ac.jp



**「シンポジウム 青森県の裁判員裁判—これまでの5年間を振り返る」
開催のお知らせ（再掲）**

1. 日 時： 2014年11月1日（土）14:00～17:30

2. 場 所： 弘前大学人文学部棟 4階 多目的ホール

3. 対 象： 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも（参加無料）
※事前申込は不要です。

4. 内 容：

第1部 研究・教育の視点から

飯 考行（専修大学）、平野 潔（弘前大学）、
弘前大学人文学部学生

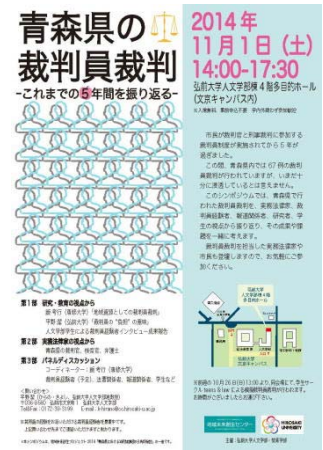
第2部 実務法律家の視点から

青森県の裁判官、検察官、弁護士

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター：飯 考行（専修大学）

パネリスト：裁判員経験者（予定）、法曹関係者、報道関係者、学生など



5. 主 催：弘前大学人文学部・教育学部

※本シンポジウムは、地域未来創生プロジェクト2014「青森県における法的諸課題の多角的検討」の一環です。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 平野 潔
TEL：0172-39-3199
E-mail：k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

【文化の日に、弘前大学へ行こう！】
弘前大学人文学部国際公開講座2014「日本を知り、世界を知る」
アジアの文化・歴史《再発見》—津軽・日本そして中国— 開催のお知らせ（再掲）

津軽やアジアの文化・歴史を再発見してみませんか。
また、人文学の研究の「今」をわかりやすくお伝えします。

1. 日 時： 2014年11月3日（月）10:00～17:00
（開場 9:30）

2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール

3. 対 象：関心のある方はどなたでも（入退場自由）
※事前申込は不要です。

4. 主 催：弘前大学地域未来創生センター・弘前大学人文学部

共 催：弘前市教育委員会（弘前市立博物館）・外ヶ浜町

5. 参加料：無 料

6. 内 容：

9:30 開 場

10:00 開会・主催者挨拶

弘前大学地域未来創生センター 学部情報室 平野 潔

10:10～11:10



講演 1

「津軽の仏教文化—弘前市立博物館展示
『久祥院殿写経』（隣松寺蔵）をめぐって—」

弘前大学人文学部 教授 渡辺 麻里子

11:20～12:20

講演 2

「津軽の気づきにくい方言—ことばの受容と変容—」

弘前大学人文学部 講師 川瀬 卓

13:00～14:00

講演 3

「雲南—中国南辺から見る世界—」

弘前大学人文学部 教授 荷見 守義

14:10～15:10

講演 4

「中国の詩跡巡礼
—名詩誕生の聖地、寒山寺（楓橋）・華清宮・桃花潭など—」

弘前大学人文学部 教授 植木 久行

15:20～16:40

特別講演

「過去・現在を想像する源義経伝説
—青森・北海道における生存説の展開と意味—」

上智大学国際教養学部 准教授 マシュー・トンプソン

16:40～16:50

閉会・主催者挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

17:00 終了

問い合わせ先: 弘前大学地域未来創生センター（担当教員 渡辺）
（弘前市文京町1）
TEL: 0172-39-3198
E-mail: irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL: <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

弘前大学地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
弘前大学との地域づくり連携事業「地域未来創生塾@中央公民館」開催のお知らせ（再掲）

「人口減少を克服する持続可能な地域づくり」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具

体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策などを模索するために、地域のみならず、弘前大学人文学部の教員及び学生が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。

1. 日 程： 2014年9月10日（水）～2015年1月28日（水）の期間の
第2および第4水曜日（全10回）

2. 時 間： 18:30～20:00

3. 場 所： 弘前文化センター 第3会議室
(弘前市下白銀町19-4)

4. 対 象： 弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方

5. 参加料： 基本的には無料

6. 申込み： 不要・当日の参加が可能です。

7. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター

共 催： 弘前市教育委員会（中央公民館）

8. その他： 継続してご参加の方には認定証の授与をいたします。

9. 年間計画：



	日程	タイトル	講師・内容
第4回	2014年10月22日(水)	財生(ざいせい)～弘前版ゆりかごから墓場まで	講師：人文学部財政ゼミナール 3年生 話題提供： 人文学部准教授 金目哲郎 (専門 財政学) 人々が“財政”との関わりの中で“人生”を歩むことを「財生」と名付けました。弘前市では社会福祉がどれだけ保障されているかについて、人生をいくつかの時期に分けて見ていき、それらの特徴や課題を考えます。
第5回	2014年11月12日(水)	都市の形—弘前と古代ローマ	講師：人文学部教授 宮坂朋 (専門 西洋考古学) ①弘前を歩く ②古代地中海の都市を歩く ③権威とプライドの古代都市ローマ
第6回	2014年11月26日(水)	地域の未来を共有するための道具箱	講師：人文学部准教授 平井太郎 (専門 社会学) 地域の未来を住民市民・行政・大学などが一体となって描き直し分かち合うためのさまざまな手法——「地元学」や「集落点検」、「地域づくり曲線」などを学び、みなさんそれぞれの地域に持ち帰っていただきます。

第7回	2014年12月10日(水)	東北方言の助詞「さ」の謎—方言に見ることばの変化—	講師：人文学部講師 川瀬卓 (専門 日本語学) 共通語で「東京に行く」というところを、青森県を始めとする東北地域では「東京さ行く」のように言います。助詞「さ」の成立に注目して、ことばの変化について考えます。
第8回	2014年12月24日(水)	くずし字で遊ぼう！くずし字で郷土の文学を楽しもう！	講師：人文学部教授 渡辺麻里子 (専門 日本古典文学) ・日本古典文学ゼミナールゼミ生 ん！？「ひらがな」なのに読めない！？ 筆で書かれた不可思議な「くずし字」に触れ、古典文学の世界を一緒に楽しみましょう。郷土にかかわる古典文学もご紹介します。
第9回	2015年1月14日(水)	地域をゲームで考える	講師：人文学部講師 日比野愛子 (専門 社会心理学) ほか 社会行動コース教員 対話型のゲームを通じて、地域の生活習慣病対策について考えます。
第10回	2015年1月28日(水)	「地域文化を音楽や芸能から考える」	講師：国際教育センター准教授 諏訪淳一郎 (専門 文化人類学) 音楽や芸能からみると、地域同士は連続し、互いに影響し合っています。そこで世界、ユーラシア、東アジア、日本、東北、津軽という同心円を設定し、世界各地の資料を訪ねつつ地域文化の特性について考えていきます。

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター
 TEL：0172-39-3198
 (平日9:00～15:00)
 E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
 URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

学 内 掲 示 板

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。
<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX: 39-3498、内線: 3029